

2014(平成26)年度 自動車部品工業の経営動向

一般社団法人 日本自動車部品工業会

一般社団法人日本自動車部品工業会は、2015年5月15日現在での会員企業443社のうち、上場企業で自動車部品の売上高比率が50%以上、かつ前年同期比較が可能な自動車部品専門企業82社の2014年度(4～3月)の経営動向を各社の連結決算短信(※連結決算を行っていない企業は単独決算)により集計・分析した。

なお、国際財務報告基準(IFRS)適用企業1社(全体に占める売上高比率1.3%)を含む。

<経済全体の状況>

2014年度の世界経済は、米国では金融緩和の政策正常化に向けた動きの影響が懸念されるものの、景気回復基調が継続した。欧州でも持ち直しの動きが続いている。一方で中国やその他新興国では景気の拡大テンポは緩やかになっている。

日本経済は4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動の影響を受けたが、景気の緩やかな回復基調は続いている。一方、金融市場では8月以降円安・ドル高が加速し、12月には7年ぶりに1ドル=121円台まで下落した。またあわせて株高基調が続いた。この結果輸出比率が高い企業を中心に企業収益を押し上げる状況となった。

<完成車メーカーの状況>

自動車工業会の発表による2014年度の自動車国内生産は、959.0万台・前年度比-3.2%となり、5年ぶりのマイナスとなった。車種別では、乗用車-4.2%、トラック+2.3%、バス+2.5%となっている。

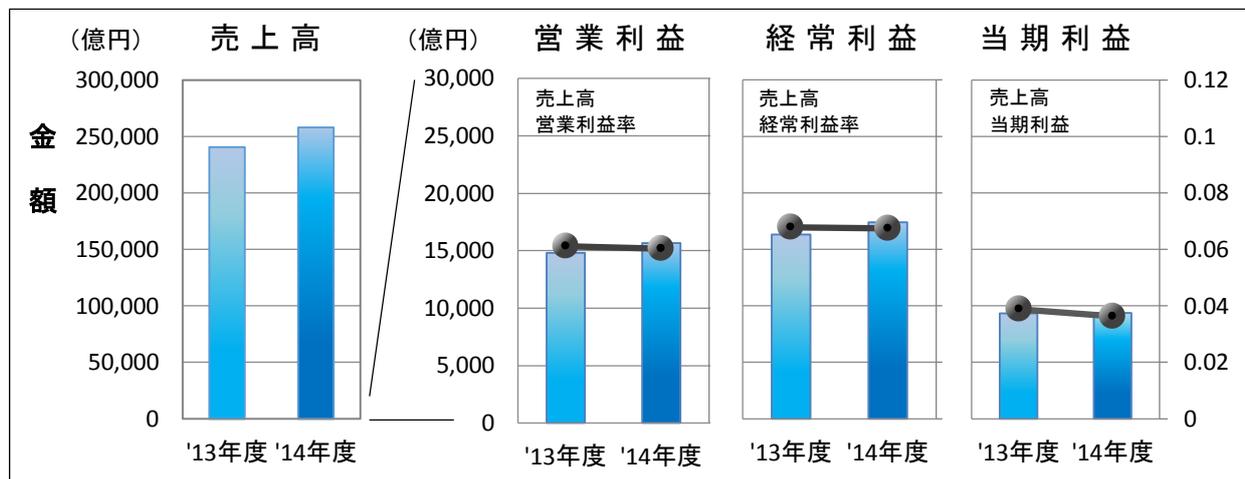
二輪車については57.6万台、前年度比-1.2%となり、2年ぶりのマイナスとなった。

<部品メーカーの状況>

自動車部品メーカー82社の2014年度の業績は、以下のとおりとなった。

(単位：億円)

	2013年度	2014年度	前年同期差	前年同期比
売上高	240,649	258,064	17,415	+7.2%
営業利益	14,807	15,660	853	+5.8%
売上高営業利益率	6.2%	6.1%	-0.1pt	-
経常利益	16,313	17,395	1,082	+6.6%
売上高経常利益率	6.8%	6.7%	-0.1pt	-
(親会社の所有者に帰属する)当期利益*	9,344	9,380	36	+0.4%
売上高当期利益率	3.9%	3.6%	-0.3pt	-



売上高については、国内市場における消費税増税等の減少要因があったものの、好調な海外事業と為替の影響により、前年同期に比べても7.2%の増収となった。売上高が25兆円を超えるのは、調査対象企業82社としての比較が可能な2008年度以降初めて。

このような状況のなか、営業利益は前年比で5.8%、経常利益は6.6%の増益となったが当期利益は0.4%の増益にとどまった。

各社の増益・減益要因を分析すると、営業利益の増益要因としては「好調な海外需要」や「為替換算の影響」、「生産合理化などの収益改善策の効果」が、減益要因としては「製品構成の変動」、「労務費・減価償却費・研究開発費の増加」、「円安による輸入原材料費高」、「一部新興国における政策変更や社会的混乱の影響」が挙げられる。

収益構造を見ると、売上高の上昇に伴い、売上原価率、販管費も上昇した。また、営業外収益が増加したものの、特別損失計上額も増加した。(P. 6)

以下は決算短信で地域別セグメント情報を記載している47社(売上高ベースで全体の70.6%)での数値となるため、あくまでも参考情報としての位置づけとなるが、国内は売上微減・減益、北中南米は自動車販売の好調と実稼働率の向上により売上・利益が増加している。

欧州は自動車市場の回復により売上・利益が回復している。アジアについては増収増益となったが、利益率の面では2ケタを切る状態が2011年度第1四半期以降16四半期間続いている。これはアジア地域全般での労務費の上昇、競争の激化に加え、政治的・社会的混乱による生産・販売台数の低迷が影響していると考えられる。ただし中長期的な需要の拡大が見込まれるため、日系企業にとってアジア市場はなお重要な収益源であり続けている。(P. 6)

借入金依存率については、13.8%となり、前年同期の14.8%から比較して1.0ポイント下がった。ただし、過去10年間で最も低かった2005年度では12.5%であり、それとの比較では依然として1.3ポイント高い水準にある。(P. 7)

2015年度通期の各社の業績見通しについては、年度全体では2014年度実績に対して増収増益の予測である。（なお、日本基準適用企業76社の予測。）

これは、海外景気の下振れリスク、原材料費・労務費上昇等の影響が懸念されるものの、現在の原油安・円安基調が続くことによる利益押し上げ効果や、販売価格の上昇、売上・輸出数量の増加への期待などによるものと考えられる。

いずれにしても、引き続き海外及び国内市場の景気動向を注視すると共に、各社の機動的な対応が望まれる。

(P. 8)

自動車部品工業の経営動向【数値情報】

—主要上場企業82社 2014年度 連結決算状況—

1. 対象企業

2014年4月から2015年3月までに決算期のある正会員上場企業で、売上高に占める自動車部品比率が50%以上の企業82社を対象とした。

2. 経営分析の方法

各社の連結決算短信（連結決算を行っていない企業は単独決算短信）による。

3. 決算状況

(1) 全体集計結果〔再掲〕

(単位：億円)

	2013年度	2014年度	前年同期差	前年同期比
売上高	240,649	258,064	17,415	+7.2%
営業利益	14,807	15,660	853	+5.8%
売上高営業利益率	6.2%	6.1%	-0.1pt	—
経常利益	16,313	17,395	1,082	+6.6%
売上高経常利益率	6.8%	6.7%	-0.1pt	—
(親会社の所有者に帰属する)当期利益	9,344	9,380	36	+0.4%
売上高当期利益率	3.9%	3.6%	-0.3pt	—

(補足) 2014年度での増減

	増加		減少		合計	
	社数	数	社数	数	社数	数
売上高	76社	—	6社	—	82社	—
営業利益	48社	(0)	34社	(0)	82社	(0)
経常利益	47社	(0)	35社	(0)	82社	(0)
(親会社の所有者に帰属する)当期利益	45社	(0)	37社	(4)	82社	(4)

※赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」に含める

※()内は、赤字計上会社数

① 売上高と営業利益の動向

		営業利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	47社	(57.3%)	29社	(35.4%)	76社	(92.7%)
	減収	1社	(1.2%)	5社	(6.1%)	6社	(7.3%)
	計	48社	(58.5%)	34社	(41.5%)	82社	(100%)

※ () 内は構成比

② 売上高と経常利益の動向

		経常利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	46社	(56.1%)	30社	(36.6%)	76社	(92.7%)
	減収	1社	(1.2%)	5社	(6.1%)	6社	(7.3%)
	計	47社	(57.3%)	35社	(42.7%)	82社	(100%)

※ () 内は構成比

③ 売上高と(親会社の所有者に帰属する)当期利益の動向

		当期利益					
		増益		減益		計	
売上高	増収	43社	(52.4%)	33社	(40.2%)	76社	(92.6%)
	減収	2社	(2.4%)	4社	(4.9%)	6社	(7.3%)
	計	45社	(54.8%)	37社	(45.1%)	82社	(100%)

※ () 内は構成比

(2) 収益構造

科 目	2013 年度		2014 年度				
	金額(億円)	構成比	金額(億円)	前年同期差	前年同期比	構成比	構成変化
売 上 高	240,649	100.0 %	258,064	17,415	+ 7.2 %	100.0 %	±0.0 %
売 上 原 価	203,152	84.4 %	218,055	14,903	+ 7.3 %	84.5 %	+ 0.1 %
販売費及び一般管理費	22,690	9.4 %	24,349	1,659	+ 7.4 %	9.4 %	± 0.0 %
営 業 利 益	14,807	6.2 %	15,660	853	+ 5.8 %	6.1 %	- 0.1 %
営業外収益	2,771	1.2 %	3,036	265	+ 9.6 %	1.2 %	± 0.0 %
営業外費用	1,265	0.6 %	1,301	36	+ 1.9 %	0.5 %	± 0.0 %
経 常 利 益	16,313	6.8 %	17,395	1,082	+ 6.6 %	6.7 %	- 0.1 %
特別利益	502	0.2 %	893	391	+ 78.0 %	0.3 %	+ 0.1 %
特別損失	1,216	0.5 %	2,126	910	+ 74.3 %	0.8 %	+ 0.3 %
税金等調整前当期利益	15,599	6.5 %	16,162	563	+ 3.6 %	6.3 %	- 0.2 %
(親会社の所有者に帰属する)当期利益*	9,344	3.9 %	9,380	36	+ 0.4 %	3.6 %	- 0.3 %

(3)【参考情報】所在地別の売上高、利益の状況(注1)

(単位：億円)

		売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比	利益率	前年同期利益率
日 本		93,893	-1.3 %	5,847	-12.2 %	6.2 %	7.0 %
海 外	北中南米	47,353	+20.7 %	1,306	+86.3 %	2.8 %	1.8 %
	欧 州	15,810	+13.4 %	280	+9.0 %	1.8 %	1.8 %
	ア ジ ア	44,771	+10.0 %	3,441	+3.7 %	7.7 %	8.1 %
	分類不可等	2,178	+3.7 %	75	+22.7 %	3.4 %	2.9 %
(消去)		-21,792	—	-226	— %	— %	— %
合 計		182,213	+6.8 %	10,723	-0.1 %	5.9 %	6.3 %

(注1) 各社の発表内容に差が大きく、地域別業績を発表しない企業(35/82社)が増えたため所在地別の売上・利益については、47社での傾向値として掲載。

(注2) 今回の集計全体の70.6%。(売上高ベース)

(4)借入金依存率の動向

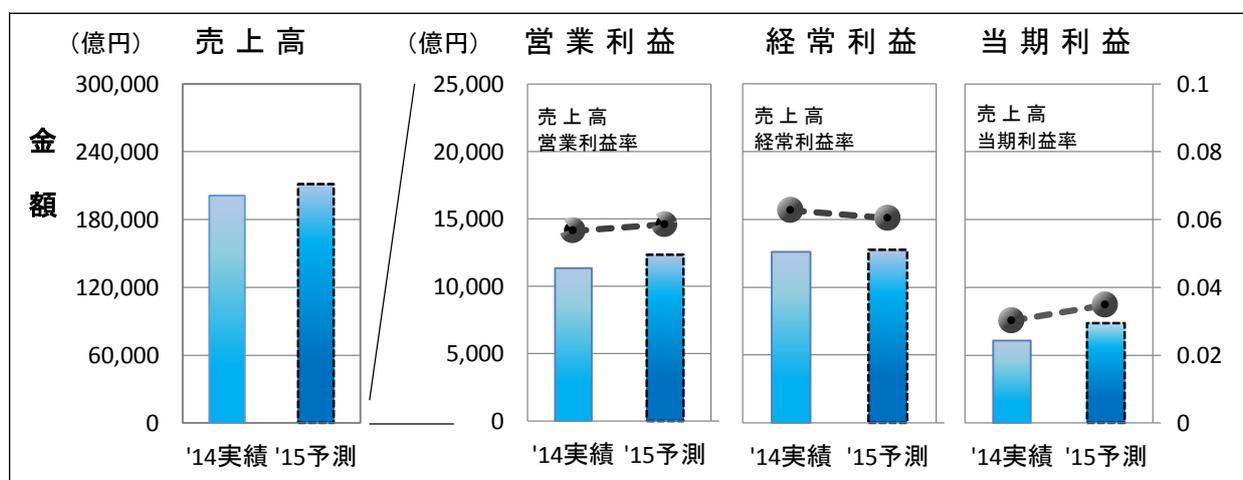
	2013年度	2014年度	前年度比(*差)
短期借入金(億円)	11,242	12,293	9.3%
長期借入金(億円)	16,405	16,518	0.7%
社債(億円)	3,765	3,841	2.0%
負債純資産合計(億円)	211,701	237,048	12.0%
借入金依存率(%)	14.8%	13.8%	-1.0Pt*

4. 2015年度の業績見通し

(1) 全体の業績見通し(対前年度)[日本基準適用企業(76社)]

(単位：億円)

	2014年度実績	2015年度見通し	前年度差	前年度比
売上高	201,194	211,446	10,252	+5.1%
営業利益	11,346	12,340	994	+8.8%
売上高営業利益率	5.6%	5.8%	0.2pt	—%
経常利益	12,609	12,762	153	+1.2%
売上高経常利益率	6.3%	6.0%	-0.3pt	—%
(親会社の所有者に帰属する)当期利益*	6,068	7,356	1,288	+21.2%
売上高当期利益率	3.0%	3.5%	0.5pt	—%



(2) 全体の業績見通し(対前年度)[IFRS(6社)]

*実績値は日本基準ベース

(単位：億円)

	2014年度実績*	2015年度見通し	前年度差	前年度比
売上高	(56,870)	58,820	—	—%
営業利益	(4,314)	4,644	—	—%
売上高営業利益率	(7.6%)	7.9%	—pt	—%
経常利益	(4,786)	4,919	—	—%
売上高経常利益率	(8.4%)	8.4%	—pt	—%
(親会社の所有者に帰属する)当期利益	(3,312)	3,207	—	—%
売上高当期利益率	(5.8%)	5.5%	—pt	—%

(3)全体の業績動向見通し〔日本基準適用企業のみ〕

	2014 年度実績						2015 年度見通し					
	増 加		減 少		合 計		増 加		減 少		合 計	
売 上 高	76社	—	6社	—	82社	—	66社	—	10社	—	76社	—
営 業 利 益	48社	(0)	34社	(0)	82社	(0)	61社	(0)	15社	(0)	76社	(0)
経 常 利 益	47社	(0)	35社	(0)	82社	(0)	35社	(0)	41社	(0)	76社	(0)
(親会社の所有者に帰属する)当期利益	45社	(0)	37社	(4)	82社	(4)	50社	(0)	26社	(0)	76社	(0)

※赤字幅が減少する場合は「増加」、赤字幅が拡大する場合は「減少」に含める。

※ () 内は赤字 [2015 年度は赤字予測] 会社数

(4)全体の業績動向見通し(売上高と営業利益の動向)〔日本基準適用企業のみ〕

		営 業 利 益					
		増 益		減 益		計	
売 上 高	増 収	57社	(75.0%)	9社	(11.8%)	66社	(86.8%)
	減 収	4社	(5.3%)	6社	(7.9%)	10社	(13.2%)
	計	61社	(80.3%)	15社	(19.7%)	76社	(100%)

※ () 内は構成比

以 上